

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
観光実務論	2	後期	2	学科専門・選択必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(さかもと ゆうき) 坂本 優紀	初回の授業で説明します。			

(英文科目名 Practices in Tourism Business)

授業の概要

近年、観光の果たす役割が大きく変わりつつあります。特に、外国人が日本を訪れるインバウンドが増加し、観光形態や観光地が変容しています。本講義では、近年の観光動態を統計に基づき概観し、実際の観光の様子を事例から学びます。また、それに付随する観光に関わる産業の現状も紹介します。

科目の位置づけ

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。現在の観光動態を捉えるために観光統計を読む力を身に付け、観光に関する様々な事柄との関係を理解します。

ディプロマ・ポリシーと到達目標

修得できる能力(ディプロマ・ポリシー)	関与度	到達目標
(1)知識・理解 体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解する。	○	観光統計から観光の現状を読み取り、各種産業や地域との関係を説明できる。
(2)汎用的技能 学んだことや考察した結果を適切な手段によって適切に表現することができる。	◎	観光産業と観光地の現状を、ニュースや統計などをもとに適切に説明できる。
(3)態度・志向性 学問の論理や体系に関心を持つとともに、学問的な見方や考え方の良さを認識し、それらを事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。		
(4)総合的な学修経験と創造的思考力 ①教育課程の多面的、計画的な履修による学びの統合により、サービス産業の多様な課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。 ②社会の変化に対応できる力を身につけ、生涯にわたる自らのキャリア形成を含め、人生の目標に向かって努力実践できる。		

授業の方法・講義手法の概要

講義

授業期間全体を通じた授業の進め方

回	内容	事前学修／事後学修
1	講義ガイダンス	事前学修:シラバスの用語の確認(90分)

		事後学修:観光基礎のまとめ(90分)
2	観光と旅行者の行動	事前学修:観光に関わる言葉を調べる(90分) 事後学修:第2回目の講義資料の復習(90分)
3	観光統計を読む(1)	事前学修:観光統計を探す(90分) 事後学修:第3回目の講義資料の復習(90分)
4	観光統計を読む(2)	事前学修:観光統計からわかることをまとめる(90分) 事後学修:第4回目の講義資料の復習(90分)
5	観光立国とインバウンド(1)	事前学修:インバウンドに関する情報を調べる(90分) 事後学修:第5回目の講義資料の復習(90分)
6	観光立国とインバウンド(2)	事前学修:インバウンドによる影響を考える(90分) 事後学修:第6回目の講義資料の復習(90分)
7	観光と産業・経済	事前学修:観光に関わる産業を調べる(90分) 事後学修:第7回目の講義資料の復習(90分)
8	旅行産業・宿泊産業	事前学修:(90分) 事後学修:第8回目の講義資料の復習(90分)
9	運輸産業・テーマパーク産業	事前学修:運輸産業とテーマパーク産業の統計データを調べる(90分) 事後学修:第9回目の講義資料の復習(90分)
10	文化施設と集客	事前学修:文化施設に関する観光統計を調べる(90分) 事後学修:第10回目の講義資料の復習(90分)
11	ニューツーリズム	事前学修:ニューツーリズムの事例を調べる(90分) 事後学修:第11回目の講義資料の復習(90分)
12	諸外国の観光政策	事前学修:シンガポールの観光政策を調べる(90分) 事後学修:第12回目の講義資料の復習(90分)
13	地域観光とまちづくり	事前学修:観光まちづくりの事例を調べる(90分) 事後学修:第13回目の講義資料の復習(90分)
14	観光による地域の変容	事前学修:観光がもたらす地域変容を考える(90分)

		事後学修:第 14 回目の講義資料の復習(90分)
15	講義のまとめ	事前学修:これまでの講義内容の確認(90分) 事後学修:全講義の復習(90分)

成績評価の方法・基準

期末レポート(60%)、講義時間中のコメントシート・小レポート(40%)

指定教科書

特になし。

参考文献等

適宜、紹介します。

履修上の留意点

実務経験